

題名

生ゴミを自然に帰す

●内容 (ごみの減量アイデアの方法やその方法を思いついたきっかけ、エピソードなど)

今までは、台所から出る生ゴミは、一坪の庭の火田に溝を掘って、埋めていました。(3坪くらいでゴミが溜まる) ところが、夜な夜な犬猫・タヌキ? がやってきて埋くり返すようになりまして。又、下の方で猫が出たという話を聞き、この方法はやめました。

さてさて生ゴミを生かす方法は... 以前勤めていた職場からコーヒー粕をもらって来て、ぬかと合わせて植木の肥料を作っていたのを思い出しました。生ゴミは、広告で作った箱に入れ、食後の洗った物が終わったら細かく切って、次の日ゴミボールに新聞紙を敷きぬかと混ぜて太陽に当てカラカラにします。(お天気が良いと3・4日ででき上がり) 発酵後に良い肥料になります。これを野菜・植木にやります。ただし、肉・魚は、もえるゴミに出します。ゴミナサイ卵のカラは、OKです。

<エピソード>

- 畑に肥として埋めた所から なにやら柑橘系の芽が出て、一直線に本木のようになりました。わあ、緑がキレイ! と感動しました。時には、瓜系の芽が出て育てみたら、冬瓜ゴロゴロ、かぼちゃもゴロゴロ... ありがたい思わぬ恵みをいただきました。
- 梅雨時には、びっくりするほどのコバエが生まれます。こんな時は、えひめAIエシメンシユツ。コバエは、どいへやら... えひめAIは、ヨーグルト・さとう・イースト・納豆で作りましたので安心・安全です。

●写真・イラストなど (別紙で添付可能)

生ゴミも自然に帰れて、喜んでいきます。きっと。



生ゴミは、広告で作った箱へ直行! 流しに入れて、水分を含ませないように...

一日一回混ぜます。

かぼちゃの2世はなんと浮(ありま)せんか... ス-7°には、いいです。